



平成 27 年度第 5 回企画展

浮世絵のあか

2016年2月2日(火) - 3月31日(木)

Part 1 / 2月2日(火) - 2月28日(日)

Part 2 / 3月1日(火) - 3月31日(木)

主催：静岡市東海道広重美術館

(指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト)

協力：東北芸術工科大学芸術学部美術科テキスタイルコース
公益財団法人ギャラリーエークワッド

企画概要

浮世絵の赤色には天然染料である紅（紅花）が主に用いられました。それは高級品であったことから、一枚の浮世絵で多量に使われることは稀でしたが、透明感のある鮮やかで強い発色は、僅かに用いるだけで浮世絵を華やかに演出しました。明治時代になると海外からの新しい絵具の導入によって、浮世絵の赤は新しい時代の特徴として、より鮮やかな赤色（洋紅）へと変遷していきます。

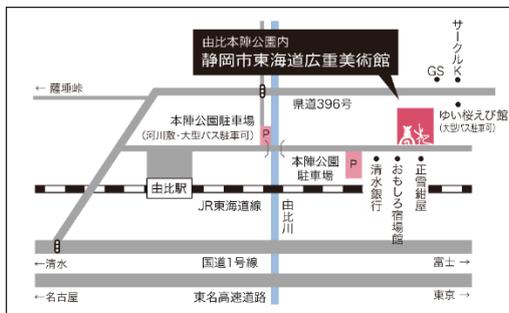
本展覧会では赤の色彩が魅力的な浮世絵とともに、紅花などの天然染料を素材とした辻けいの作品をご紹介します。現代では目に触れる機会の少なくなった、古くから受け継ぐ伝統の色とそれを用いた革新的な表現に迫ります。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般 510 円（410 円）／大学生・高校生 300 円（240 円）／中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料 ※（ ）は 20 名以上の団体料金



交通案内

電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号經由約 20 分

■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号經由約 25 分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp [facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

展覧会のみどころ

①時代を越えた赤の共演

浮世絵の赤と辻けいが手掛けた作品の赤には、伝統的な素材が使用されているという点で共通しています。時代を経てもなお使われ続ける魅力的な色彩をどうぞご堪能ください。

②現代に残る浮世絵の色

二百年ほど前の江戸時代に摺られた浮世絵でも、保存の状態によって当時の色彩を残す作品は数多くあります。本展覧会では、色鮮やかな浮世絵や赤色が印象的な作品を厳選してご紹介します。

Part 2 展示作品
歌川広重『名所江戸百景 亀戸梅屋舗』
当館蔵



展示作品紹介：浮世絵

本展覧会では、色鮮やかで赤が印象的な浮世絵を、様々なテーマに分けてご紹介します。赤を用いたことで現れる視覚効果や空間表現、色と文化の関わりをご覧ください。

天候・時間を描く

浮世絵版画の特徴であるぼかし技法は、名所絵の空や地平線に用いることによって天候や時間、あるいは画面の中に広がる雰囲気までも表現しました。一文字ぼかしと呼ばれる画面上部に配す濃淡のグラデーションは、青は晴天、黒は曇りや雨、赤は朝焼けや夕焼けなどを表現し、画面に切り取られた一日の時間を想像することも鑑賞の楽しみの一つです。



Part 1 展示作品
歌川広重『名所江戸百景 浅草田南西の町詣』当館蔵



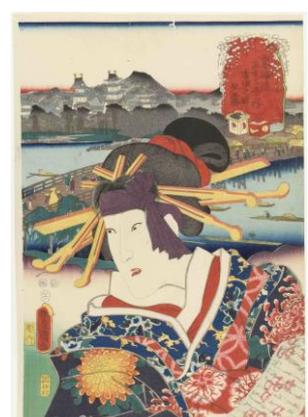
Part 2 展示作品
歌川広重『富士三十六景 駿河薩々之海上』当館蔵

飾り・装いを描く

江戸幕府は、民衆が着る布地の種類から色まで指定することで派手な装いを禁止する贅沢禁止令を出しました。そのような中、江戸の民衆達は禁令の範囲の中で、意匠や色に細かくこだわり、おしゃれを楽しみました。歌舞伎役者や遊女達の着物の着こなしを描いた浮世絵は、そのようなおしゃれを欲した庶民達の、現在のファッション雑誌のようなお手本としての役割も果たしました。



Part 1 展示作品
三代歌川豊国『東海道五十三次の内由井 志のぶ』当館蔵

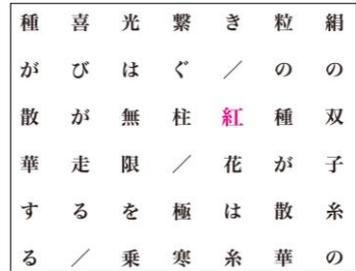
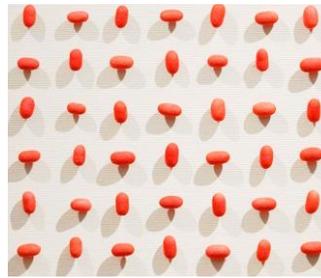


Part 2 展示作品
三代歌川豊国『東海道五十三次之内吉田之驛 夕霧』当館蔵

展示作品介绍：現代作家作品

現代作品にみる天然の色と表現

辻けい^{つじ}が長年魅了されてきた「あか」。近年ではその色を用いた作品を数多く手がけています。蚕の繭を紅花で染めた『紅の文字』は辻が教授を務める東北芸術工科大学テキスタイルコースが、2008年より継続する紅花の魅力を見出す取り組み「紅花プロジェクト」から生み出され、紡ぎ出された言葉たちです。



全会期展示作品

【左】辻けい『紅の文字』(部分) 東北芸術工科大学芸術学部美術科テキスタイルコース蔵
 【右】辻けい『紅の文字 - 対峙作品』(部分) ©辻けい

現代作家紹介

辻けい^{つじ}

昭和二十八年～(1953～)

美術家。東北芸術工科大学教授。1980年代より自ら染織した布を用い、世界各地の水辺、森、砂漠等を訪ね、フィールドワーク・インスタレーションを展開。自己(染織した布)と時空(自然界の原理)との関わりを探求し続けている。特に近年は「あか」を主題とした数多くの作品を制作する。



◆主な個展(2000年以降)

2000年 調布画廊(東京)	2006年 国際芸術センター青森(青森)
2001年 岩手県立美術館・開館記念展参加 「辻けいの仕事」(盛岡)	2008年 銀座コマツ(東京)
2004年 ガレリア・フィナルテ(名古屋)	2009年 INAX ギャラリー2(東京)、カスヤの森現代美術館(神奈川)
2005年 色彩美術館(東京)	2010年 ギャラリーノビタ(青森)、ギャラリーミヤシタ(札幌)
	2014年 ギャラリーエークウッド(東京)

関連企画

①辻けいアーティストトーク

日時：3月13日(日) 13:00～13:30

参加費：無料(館料別途)

※当日当館エントランスホールにお集まりください。(申し込み不要・定員制限無)

②ワークショップ「浮世絵の色でつくる赤いハンカチ」

浮世絵の絵具には染物の色とおなじ染料も使われました。染料の紅花でハンカチを染めて、浮世絵の色を学ぶワークショップです。

講師：当館学芸員

日時：3月20日(日・祝) 13:30～16:00

参加費：無料 ※入館料別途

対象：小学生・中学生

定員：10名

申込み：WEBサイト・電話(054-375-4454)にて申込み(先着順※定員になり次第受付を終了します。)

※持ち物はありますが、汚れてもよい服装でご参加ください。

③当館学芸員によるギャラリートーク

日時：Part 1 / 2016年1月24日(日) 13:00～13:30

Part 2 / 2016年3月6日(日) 13:00～13:30

参加費：無料(館料別途)

※当日当館エントランスホールにお集まりください。(申し込み不要・定員制限無)

美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

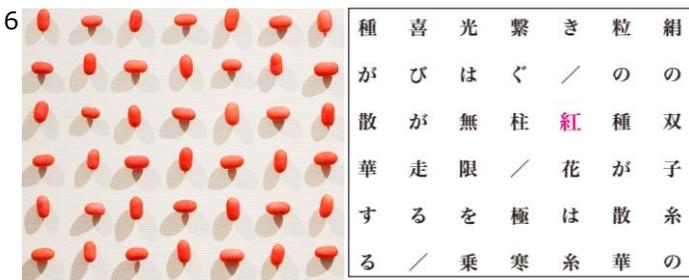
広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記 6 点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



※広報画像 6 番『紅の文字』および『紅の文字 - 対峙作品』は、必ずセットによるご使用をお願いいたします。

□作品名およびクレジット

- | | |
|----------------|------------------------------------------------|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重 | 『名所江戸百景 亀戸梅屋舗』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 3. 歌川広重 | 『名所江戸百景 浅草田甫西の町詣』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 4. 歌川広重 | 『富士三十六景 駿河薩タ之海上』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 5. 三代歌川豊国 | 『東海道五十三次之内 由井 志のぶ』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 6. 辻けい | 『紅の文字』（部分）東北芸術工科大学芸術学部美術科テキストスタイルコース蔵 |
| 辻けい | 『紅の文字-対峙作品』（部分）©辻けい |

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CD などお送りいただければ幸いです。



『浮世絵のあか』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ
2. 歌川広重 『名所江戸百景 亀戸梅屋舗』
3. 歌川広重 『名所江戸百景 浅草田甫西の町詣』
4. 歌川広重 『富士三十六景 駿河薩々之海上』
5. 三代歌川豊国 『東海道五十三次の内 由井 志のぶ』
6. 辻けい 『紅の文字』（部分）
- 辻けい 『紅の文字-対峙作品』（部分）

貴社名：
_____媒体名：
_____ご担当者名：
_____TEL：
_____FAX：
_____E-mail：
_____画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00~16:00
_____掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp